

「エルサレムの平和のために祈れ。」 詩篇 122:6 【口語訳】

第二次世界大戦中の日本では、ホーリネス系の教会は迫害され、134名の牧師たちが逮捕され、何名かは殉教死しました。そんな中、ホーリネス系きよめ教会の牧師たちがしたことと言えば、福音を伝え続けること、そしてイスラエルのために祈り労することでした。

杉原千畝さんの命のビザを受け取った六千人の話は、とても有名です。でも、その六千人がその後どうしたか、ということについては、あまり知られていません。そのビザを受け取ったユダヤ人たちには、長旅をして、日本を經由し、アメリカなどへ逃げるという、そんな命がけの旅が待っていたのです。ドイツと同盟国であった日本を通過する、それは常識では考えられないことですが、それを助けた人たちがいました。それが、ホーリネス系きよめ教会の牧師たちでした。私たちホーリネス教会の先輩たちは、福音を宣べ伝え、そしてイスラエルのために祈り、その救いのために労しました。それは聖書の通りに生きたということでしょう。

このことについては修養会や当教会での講演ですでに学んだことですが、先週の竹内正臣牧師の講演で、改めて思い起こしたことでした。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2023年11月5日

オレンジ郡 キリスト教会

礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

「私はこの岩の上に私の教会を建てよう。陰府の門もこれに打ち勝つことはない。私はあなたに天の国の鍵を授ける。」

マタイ 16:18, 19

☆ 集会案内 ☆

日曜礼拝 : 09:30-10:20

礼拝は短縮して持たれています。

礼拝後のバイブルスタディ、平日のクラスなどは、現在休止しています。

